

平成 28 年度登録水先人養成施設からの改善提案への対応について

平成 28 年度登録水先人養成施設の内部評価報告を含む事業報告書にて提案された改善要望は、既に外部評価項目に取り込み、その対応の方向性の評価は確定した。また、改善提案への具体的対応については、総合事業検討委員会の外部評価委員による審議結果により、下記の通り確定した。

記

1. 養成体制の改善 (外部評価実施結果シート : F1)

1.1. 改善提案内容

タグ訓練及び水先関連事業見学につき見直し提案

新規三級修業生に課されるタグ訓練 7 日間及び代理店見学 2 週間は、大学新卒修業生を想定して決められたが、三級 7 期生以降は航海士として乗船実歴 1 年以上の経験者であるため、これ等訓練、見学の期間を見直すべき。

1.2. 対応

商船実習訓練を終えて参加する三級 7 期生以降は、代理店見学等カリキュラムの変更を含め改訂作業中である。

2. 養成設備教材・支給品 (外部評価実施結果シート : F2)

2.1. 改善提案内容

- ①係留索操作装置の改良要望提案
- ②RADAR 表示機能の改善要望提案

2.2. 対応

- ①改良要望提案未提出であったが、平成 29 年 9 月 20 日開催第 2 回水先人養成に関する総合事業検討委員会に改良提案が提出され承認された。
- ②完了した。

3. 修業生の管理（外部評価実施結果シート：F3）

3.1. 改善提案内容

1. 実務修習達成度チェックシートの問題点

水先人免許を持っていない修業生に水先人乗船地点から着岸地点まで実際に操船させなければ評価ができない。

2. 訓練・評価記録を活用

書式 ES003 を参考にすることで水先人が教育センターに提出する「水先区個別教育終了（仮）認定書」は作成可能である。

3.2. 対応

目標達成度記録管理（EMMA）システムを教育訓練管理（RET=MANAGEMENT SYSTEM for RECORD of EDUCATION and TRAINING）システムに変更した。

以上